

産業競争力の強化・外国人材の受入対策に係る主要事業について

令和3年 5月20日  
 危機管理監  
 総務局  
 地域政策局  
 健康福祉労働局  
 商工農林水産局  
 土木建設局  
 企業委員会  
 教育委員会  
 警察本部  
 監事部

項目	事業概要	取組状況等																								
<p><b>1 県経済の持続的な発展に向けた産業振興</b></p> <p>急激な事業環境の変化に対応し、本県経済の安定的な発展を図るため、本社・研究開発機能の誘致や拠点性を高める投資の促進、県経済を牽引する企業の育成、「新しい生活様式」に対応した事業展開の支援などに取り組む。</p>	<p><b>① 企業立地促進対策事業（一部新規）【商工労働局】 6,661 百万円</b></p> <p>助成制度の見直しを行い、デジタル系企業や研究開発機能の誘致を強化するとともに、今後投資拡大が予想される分野等に対して重点的な誘致活動に取り組むことで、社会情勢の変動に対応できる産業基盤の構築、県経済の持続的な発展、雇用機会・税収の確保につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業立地促進助成制度                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短期間、県内のシェアオフィス等を利用する県外企業への助成（新規）</li> <li>・ 研究開発部門を県内に移転・新設した企業に対し、研究開発に係る費用を助成（新規）</li> <li>・ 本社機能を移転・新設した企業に対する役職員等の転居費用やオフィス改修費、人材確保経費等への助成（中山間地域の助成率を引き上げ）</li> <li>・ 大規模事業所の休止・閉鎖が公表された場合に、その取引企業の設備投資への助成（新規）</li> <li>・ 環境・エネルギー、医療・健康等、先端分野への助成（拡充） など</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <p>○ 企業誘致等件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本社・研究開発機能等移転・拡充件数</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>企業立地促進助成承認件数</td> <td>29</td> <td>42</td> <td>49</td> <td>39</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>工場・流通施設の立地状況</td> <td>32</td> <td>19</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <p>○ 改正した助成制度も活用し、WEB・SNSを活用したPRや、市町等と連携した企業ニーズに即したきめ細かな誘致活動を展開する。</p>		H28	H29	H30	R1	R2	本社・研究開発機能等移転・拡充件数	6	11	14	15	31	企業立地促進助成承認件数	29	42	49	39	66	工場・流通施設の立地状況	32	19	17	14	18
	H28	H29	H30	R1	R2																					
本社・研究開発機能等移転・拡充件数	6	11	14	15	31																					
企業立地促進助成承認件数	29	42	49	39	66																					
工場・流通施設の立地状況	32	19	17	14	18																					

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p><b>② 本郷地区土地造成事業【企業局】</b> <span style="float: right;"><b>375 百万円</b></span></p> <p>企業誘致による産業集積や雇用の創出等を図るための受け皿として産業団地の造成及び分譲に取り組んできたところである。現在、三原市本郷地区において、三原市と共同で「本郷産業団地」の整備を進めている。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本郷産業団地の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・所在地 三原市本郷町船木</li> <li>・事業期間 平成 27 年度～令和 3 年度</li> <li>・造成面積 41.8ha</li> <li>・分譲面積 27.4ha（1期：15.8ha，2期：7.4ha，3期：4.2ha）</li> <li>・分譲予定企業 2期：4.2ha オート化学工業(株)</li> <li>・事業主体 広島県・三原市の共同事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>県：設計・造成工事の実施，技術的支援 等</li> <li>市：公園・調整池・上水道の整備 等</li> </ul> </li> <li>・総事業費 5,212 百万円</li> </ul> </li> </ul> <p><b>③ 創業・新事業展開等支援事業【商工労働局】</b> <span style="float: right;"><b>273 百万円</b></span></p> <p>イノベーションが持続的に生み出される環境整備を進めるため，創業前の事業計画段階から創業後の離陸期までの支援を強化するなど，創業支援機能の強化を図るとともに，潜在的創業希望者の拡大に向けた取組や中小企業の新事業展開の支援を行う。</p> <p>また，サービス産業において生産性向上を図るため，付加価値の創出や業務の効率化の取組を支援する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 創業環境整備促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オール広島創業支援ネットワークの機能強化</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 造成した産業団地 43 団地 2,017.9.1ha</li> <li>○ 未分譲面積（R3.3 末現在） 5 団地 40.7ha (造成中の本郷産業団地 2 期・3 期を含む。) うち立地協定締結済を除く残面積 30.2ha)</li> </ul> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本郷産業団地の整備・分譲 H30 に事業化した 2 期・3 期について，2 期については R3.6 月，3 期については，12 月の完成に向けて着実に事業を進める。 また，R1 から一般会計において計画的な基金積立が開始されていることを踏まえ，県民負担を最小にするため，関係者と連携し，未分譲区画の分譲促進に取り組む。</li> </ul> <p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 創業環境整備促進 (ひろしま創業サポートセンター)</li> <li>・創業，第二創業件数（H25～R3.3 現在） 2,699 件</li> <li>・成長支援事業実施件数 R1：5 社，R2：5 社 (創業者表彰)</li> <li>・創業者表彰実績（H29～R2） 表彰者 12 名（応募者 65 名）</li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひろしま創業サポートセンター」による創業支援，創業後の成長支援</li> <li>・創業者表彰，創業支援ポータルサイトによる創業意識の向上と創業促進</li> <li>○ 中小企業イノベーション促進支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティングから市場獲得までの各分野における全国で活躍する専門家 で構成された支援チームにより，中小企業を集中支援</li> <li>・企業価値や競争力の向上による企業成長を目指し，技術・経営力の評価書 を発行し，信用力の向上による融資や経営課題の解決を支援</li> </ul> </li> <li>○ サービス産業生産性向上支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化等の課題解決に向けた取組を考え，実行を促す機会の提供</li> <li>・企業に収集・蓄積されたデータを分析・活用する学びの場の提供（セミナー， ワークショップ）</li> <li>・革新的なサービス等のイノベーションを創出する組織を作るための知見や 技法を学ぶ機会の提供</li> </ul> </li> <li>○ 中小・ベンチャー企業のチャレンジ応援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小事業者がビジネスプランに基づき取り組む新たなビジネスモデル等の 実現に向けた支援</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中小企業イノベーション促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム型支援企業（H27～R2）74社</li> <li>・技術経営力評価書発行実績（H25～R2）：329件</li> <li>・評価書に基づく融資実績（H25～R2）：413件， 12,973百万円</li> <li>・サービス産業生産性向上支援 現場改善ワークショップ等の実施：（R2）4回 開催，延べ78名参加 データ分析・活用による生産性向上セミナー等 の実施：（R2）15回開催，延べ749名参加 イノベーション創出スクールの実施：（R2）全 10回，10社参加</li> </ul> </li> <li>○ 中小・ベンチャー企業チャレンジ応援：（R2） 8件採択，27百万円</li> <li><b>【今後の取組予定】</b></li> <li>○ 創業環境整備促進 （ひろしま創業サポートセンター） <ul style="list-style-type: none"> <li>・潜在的創業希望者の掘り起こしの継続及び より大きな成長を志向する事業計画の立案。</li> <li>・創業後の成長を後押しすることを目的とした 専門的な指導・助言等の集中的な実施。</li> </ul> </li> <li>○ 中小企業イノベーション促進 （チーム型支援） <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度の支援先企業が食品製造業に偏っていた 状況を踏まえ，本県の基幹産業である，ものづ くり企業等への支援拡大を図っていくため，個別 訪問等を強化するとともに，資金面や事業の方向</li> </ul> </li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
		<p>性等について、チャレンジ応援事業や技術・経営力評価制度等と連携した支援に取り組む。</p> <p>(中小企業技術・経営力評価支援)</p> <p>評価書のさらなる活用を促進するために、専門家による、評価書で明らかになった課題に対する解決策の提案や支援策等に取り組む。</p> <p>(サービス産業生産性向上支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践型現場改善ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> <li>参加企業の生産性向上の取組を県内全体へ波及させていくため、産業支援機関による支援や啓発活動に取り組む。</li> </ul> </li> <li>・データ分析・活用による生産性向上事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>データ活用を通じた生産性向上に取り組むことができるように、企業内での課題等への助言等を通じて、企業内での行動変容の後押しをする支援に取り組む。</li> </ul> </li> <li>・イノベーション創出スクール <ul style="list-style-type: none"> <li>イノベーションの創出を通じた生産性向上に取り組む企業の参加を促進するため、マスコミ等の多様な周知媒体の活用や協力により、参加企業の発掘に取り組む。</li> </ul> </li> </ul> <p>○ 中小・ベンチャー企業チャレンジ応援</p> <p>事業の利用を促進するため、金融機関や大学をはじめとする、様々な媒体の活用や、企業訪問を通して、案件の発掘に取り組む。</p>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等										
	<p>④ 預託制度運用費 預託額 【商工労働局】  <b>82,049 百万円 [新規融資枠 175,100 百万円]</b></p> <p>中小企業に対し、民間金融機関では提供が困難な長期・低利の資金を預託融資制度の運用を通じて資金供給することにより、資金調達の円滑化を図る。</p> <p>・中小企業に対する預託融資制度の運用（経営安定融資、小規模融資、緊急対応融資、産業支援融資、労働支援融資等）</p> <p>◆令和3年度の制度変更内容</p> <table border="1" data-bbox="577 560 1458 1187"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>借換資金の融資 限度額の拡充</td> <td>融資限度額を 5,000 万円～8,000 万円へ拡充</td> </tr> <tr> <td>事業承継支援資金の融資対象の 拡充</td> <td>経営者保証が事業承継の障壁となっている事業者が、承継に併せて保証債務を借り換える際の資金について、経営者保証を求めない保証制度（経営承継借換関連保証）の認定を受けた事業者を融資対象に追加</td> </tr> <tr> <td>新成長分野支援資金の融資対象の 拡充</td> <td>「健康・医療関連」分野に医薬品、保健機能食品、創薬支援及びヘルスケアサービス関連事業者を追加するとともに、対象分野として「航空機関連」を追加</td> </tr> <tr> <td>設備資金利率の 引下げの継続</td> <td>産業支援融資及び労働支援融資の設備資金の貸出利率引下げを継続</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	内 容	借換資金の融資 限度額の拡充	融資限度額を 5,000 万円～8,000 万円へ拡充	事業承継支援資金の融資対象の 拡充	経営者保証が事業承継の障壁となっている事業者が、承継に併せて保証債務を借り換える際の資金について、経営者保証を求めない保証制度（経営承継借換関連保証）の認定を受けた事業者を融資対象に追加	新成長分野支援資金の融資対象の 拡充	「健康・医療関連」分野に医薬品、保健機能食品、創薬支援及びヘルスケアサービス関連事業者を追加するとともに、対象分野として「航空機関連」を追加	設備資金利率の 引下げの継続	産業支援融資及び労働支援融資の設備資金の貸出利率引下げを継続	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県費預託融資実績  (R3. 3 月末・新規融資額)  : 38,138 件, 573,987 百万円</li> </ul> <p>※コロナ対応資金の活用により対前年度比が大幅に増加した。  《前年同期比》  件数 753.0%, 金額 1442.2%</p> <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県HP、金融機関・産業支援機関等へのパンフレット配付等によるPRにより、幅広く制度改正内容を周知し、利用促進を図る。</li> <li>○ 引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大による経済への影響が懸念されることから、金融機関や保証協会等を通じて、中小企業の経営状況の把握に努め、必要に応じた支援策を検討する。</li> </ul>
項 目	内 容											
借換資金の融資 限度額の拡充	融資限度額を 5,000 万円～8,000 万円へ拡充											
事業承継支援資金の融資対象の 拡充	経営者保証が事業承継の障壁となっている事業者が、承継に併せて保証債務を借り換える際の資金について、経営者保証を求めない保証制度（経営承継借換関連保証）の認定を受けた事業者を融資対象に追加											
新成長分野支援資金の融資対象の 拡充	「健康・医療関連」分野に医薬品、保健機能食品、創薬支援及びヘルスケアサービス関連事業者を追加するとともに、対象分野として「航空機関連」を追加											
設備資金利率の 引下げの継続	産業支援融資及び労働支援融資の設備資金の貸出利率引下げを継続											

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p><b>⑤ 海外ビジネス展開支援事業【商工労働局】 6百万円</b></p> <p>県内企業の海外事業展開ニーズが高く、ビジネスチャンスが見込まれる地域・業種において、外国企業との連携を通じて、新しい価値を産み出すビジネス展開を支援する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ シリコンバレーと連携した県内企業のイノベーション促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界をリードする先端企業や大学等の研究機関が集積し、イノベーションを産み出すビジネス環境が充実している米国シリコンバレーにおいて、現地コーディネーターを活用した商談支援やビジネスネットワークキング等を実施</li> </ul> </li> </ul> <p><b>⑥ デジタル技術を活用した研究技術支援機能強化事業【総務局】 30百万円</b></p> <p>総合技術研究所において、将来にかけて必要とされる技術を有する人材を継続的に育成し、県内中小企業等が抱える技術的課題に対応する基盤技術を整備することにより、技術支援機能を強化する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ デジタル技術を活用できる人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師による研修、コンサル等によりデジタル人材（研究員）を育成</li> <li>・デジタル機器やデジタル化した技術を用いたセミナー等により、事業者等や県職員のスキルアップを支援</li> </ul> </li> <li>○ 研究員の熟練技能のデジタル化による技術支援機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究員の技術支援機能のデジタル化</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ シリコンバレーでのビジネスマッチングの開催（H26～R1）</li> <li>○ シリコンバレービジネスウェブセミナーの開催（R2） <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の現地進出2件、現地企業との商談成立13件（累計：R2末現在）</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ シリコンバレーと連携した県内企業のイノベーション促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・シリコンバレーでのビジネスマッチングの開催および現地コーディネーターによる現地企業との商談機会の設定</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら取組を実施する。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ デジタル技術を活用できる人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合技術研究所研究員を対象として、AI、IoT、プログラミング、統計解析等のデジタル技術の基礎を習得する研修を開催（延べ46回）</li> </ul> </li> <li>○ 研究員の熟練技能のデジタル化による技術支援機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化に必要な機器を総合技術研究所各センターに整備して、各種データの取得を実施</li> </ul> </li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像処理・A I 技術等を用いた研究員の熟練技能のデジタル化（酒造工程の発酵制御，農作物の栽培，牛の生育支援，目視判定試験・評価の自動化）</li> <li>・V R ・ A R 技術を用いた公設試のバーチャル化</li> <li>・センター間ネットワークの構築</li> </ul>	<p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ デジタル技術を活用できる人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・習得したプログラミングや統計手法等を活用して実施するトライアルテーマを設定し，デジタル技術を活用した個別課題の解決に取り組む。</li> </ul> </li> <li>○ 研究員の熟練技能のデジタル化による技術支援機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・R2 に取得した各種データを解析し，それに基づく実証実験を実施し，支援システムの開発に取り組む。</li> </ul> </li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
<p><b>2 イノベーション立県の実現</b></p> <p>県の基幹産業であるものづくり産業において、持続的に競争優位性を確保していくため、グローバル化やデジタル化を適切に進めるとともに、上流工程などの付加価値の高い領域を包含したものづくり活動への転換を図る。</p> <p>新たな成長産業を育成するため、広島で先進的な研究が行われているゲノム編集技術やカーボンリサイクル技術など、新技術を活用した研究の拠点化や産業化に向けた取組を推進する。</p> <p>内閣府から「スタートアップ・エコシステム拠点都市」に選定されたことを好機に、世界に選ばれる「イノベーション創出拠点」として国内外に認知されるよう、イノベーション・エ</p>	<p><b>① 次世代ものづくり基盤形成事業【商工労働局】 97 百万円</b></p> <p>激変する事業環境下においても、本県ものづくり企業が持続的に競争優位性を確保できるようにするため、新技術の創出に向けたシーズ探索や中小企業でのAI/IoT活用を支援するとともに、産学官連携の取組を支援する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新技術トライアル・ラボ運営事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車メーカーのニーズに応じた技術シーズの探索・試作・基礎実験にサプライヤーと協働で取り組み、社会実装に向けた技術提案力強化を支援</li> </ul> </li> <li>○ 自動車関連産業クラスター支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーテクノロジー革新センターの運営を通じて、知のネットワーク構築、研究開発及び人材育成等を支援</li> </ul> </li> <li>○ サプライヤー技術革新力向上事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小サプライヤー企業の付加価値創出や生産性向上等に関する支援</li> </ul> </li> <li>○ 自動車産学官連携イノベーション推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広島大学、民間企業、広島県、広島市等で構成する「ひろしま自動車産学官連携推進会議」の活動を通じ、産学官連携による独創的技術の創出や人材育成等、地域の自動車産業の活性化に向けた取組を支援</li> </ul> </li> </ul> <p><b>② ものづくり価値創出支援事業【商工労働局】 348 百万円 (R3 当初), 1,000 百万円 (R3 繰越事業)</b></p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ものづくり価値創出支援補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・厳しい経営環境においても将来にわたる研究開発投資を促進することで、本県のものづくり企業の持続的発展を図るため、先行開発の成果等を基に、課題と技術構想が明確になっている応用開発・実用化開発を支援</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新技術トライアル・ラボ運営事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・シーズ探索・確立件数 (R2: 9 件)</li> </ul> </li> <li>○ 自動車関連産業クラスター支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーテクノロジー革新センターによる研究開発・人材育成等の支援 人材育成 (R2: 579 人)</li> </ul> </li> <li>○ サプライヤー技術革新力向上事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報技術人材育成 (R2: 107 人)</li> </ul> </li> <li>○ 自動車産学官連携イノベーション推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひろしま自動車産学官連携推進会議の運営 代表者会議の開催 (R2: 2 回)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ カーテクノロジー革新センターの運営を通じて、自動車に関する技術者の人材育成の支援を行うとともに、新技術トライアル・ラボにおいて、引き続き、研究開発支援を行う。</li> <li>○ 企業の個別課題に応じた専門家の派遣や情報技術人材の育成に関する取組を実施する。</li> </ul> <p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ものづくり価値創出支援補助金 <b>【R2 第1次公募分 (6月補正)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付決定件数: 11 件 (申請件数: 40 件)</li> <li>・交付決定額: 358 百万円</li> <li>・確定額: 319 百万円</li> </ul> </li> <li><b>【R2 第2次公募分 (9月補正)】</b></li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
<p>コシシステムの形成に必要な機能要件の底上げ, 質の向上に取り組み, 「広島型イノベーション・エコシステム」の構築を進める。</p>	<p>③ 「ひろしまものづくりデジタルイノベーション」創出事業【商工労働局】  <b>970 百万円 (R3 当初), 455 百万円 (R3 繰越事業)</b></p> <p>産学官の連携の下, 地域の大学等の機能・知見を活用して, 地域の中核的な産業の振興と高度かつ専門的な人材育成を行い, 当該高度・専門人材の地域での就業を促進することで, 地域産業の更なる振興と人材育成の促進の好循環を起し, 地域の活力の向上と持続的な発展を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「広島大学デジタルものづくり教育研究センター」を中心とした産学の連携による先端研究への支援</li> <li>・開発した材料やシステムを実証・試作する環境 (テストベッド) の整備</li> <li>・広島大学, 県立広島大学, 広島市立大学等と連携した高度専門人材の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交付決定件数 : 32 件 (申請件数 : 32 件)</li> <li>・ 交付決定額 : 827 百万円</li> </ul> <p>○ 未来ニーズ探索型 F/S 研究開発補助金 (R2 のみ)</p> <p>※新しい生活様式で必要となる新技術・新製品の開発等, 応用・実用化開発につながる事業化可能性の検証を支援</p> <p>【R2 第 1 次公募分 (6 月補正)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交付決定件数 : 6 件 (申請件数 : 6 件)</li> <li>・ 交付決定額 : 6 百万円</li> <li>・ 確 定 額 : 5 百万円</li> </ul> <p>【今後の取組予定】</p> <p>○ ものづくり価値創出支援補助金について, R3 予算において R3. 3. 4~4. 20 の期間で公募を実施し, 10 件の申請を受理。審査会による審査を経て, R3. 6 月上旬に交付決定予定。</p> <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「広島大学デジタルものづくり教育研究センター」の活動状況 (R3. 3 末時点) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究プロジェクト数 : 3 プロジェクト</li> <li>・ 参画機関数等 : 延べ 55 社・機関, 585 名</li> </ul> </li> <li>○ 社会人向け「実践的データ利活用人材育成研修」の実施 (R2. 10~R3. 2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎講座受講者数 : 34 名</li> <li>・ 実践講座受講者数 : 63 名</li> </ul> </li> <li>○ ひろしまデジタルイノベーションセンター</li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>として、データサイエンス等に係る実践的な社会人向け教育プログラムを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業推進のための会議体運営</li> <li>・ひろしまデジタルイノベーションセンター（HDIC）の運営，CAE，MBD研修の実施</li> </ul> <p><b>④ 健康・医療関連産業創出支援事業【商工労働局】 87 百万円</b></p> <p>医療機器，再生医療等製品，福祉用具のデバイスに加え，医薬品，機能性表示食品等，ヘルスケアサービスもターゲットとし，ゲノム編集技術やデジタル技術等も活用した健康・医療関連ビジネスの更なる育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内企業による付加価値が高い製品開発への支援</li> <li>・県内企業の受注拡大に向けたビジネスマッチング，県外企業とのネットワークづくりへの支援</li> <li>・県内の医療機関等と連携し，医療機器等の評価・医療現場観察の支援などを行う実証フィールドの構築</li> <li>・課題発見型の医療機器開発手法についての人材育成プログラムである「バイオデザインプログラム」の推進</li> <li>・ゲノム編集技術の産業活用の促進</li> <li>・ひろしま医療関連産業研究会活動の展開，支援体制の確保</li> </ul>	<p>（R2. 4～R3. 3）の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成研修受講者 延べ 1,312 人</li> <li>・センター利用状況 延べ 30 プロジェクト</li> </ul> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研究拠点の改修等を通じた研究環境の整備</li> <li>○ 県内大学の連携によるデータサイエンス人材の育成カリキュラム策定及び県内企業の参加促進</li> <li>○ テストベッド棟の建設</li> <li>○ 「ひろしまデジタルイノベーションセンター」での利用者の習熟度に応じた人材育成研修やHPCの利用拡大</li> </ul> <p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 推進体制を整備するとともに，「ひろしま医療関連産業研究会」を設置し活動を開始（H23. 11～） <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数： 505 団体（うち企業 453 社）</li> </ul> </li> <li>○ 医療・福祉機器など約 150 件の事業化を支援中（H23～R3. 3：85 案件が上市済） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひろしま医療関連産業創出支援事業補助金（H24～R2：71 件）</li> </ul> </li> <li>○ マスク等個人防護具等開発支援事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・R2：7 件</li> </ul> </li> <li>○ ひろしま発のビジネス創出に向けた実証フィールドの推進組織として，「ひろしまヘルスケア推進ネットワーク」を設立（H27. 5～） <ul style="list-style-type: none"> <li>・R2：実証件数 19 件，実証先 190 施設</li> </ul> </li> <li>○ 広島大学において「バイオデザイン共同研究講</li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p><b>⑤ 環境・エネルギー産業集積促進事業（一部新規）【商工労働局】141 百万円</b></p> <p>これまでの海外展開を中心とした取組に加え、産学官連携による新たなビジネスの創出やカーボンリサイクル技術の推進により、環境・エネルギー産業が広島県の新たな産業の柱の一つとなるように、企業等の集積促進を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 海外展開の加速化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商社等を活用した販路開拓支援（2カ年事業）</li> <li>・ 海外サポート拠点による商談支援</li> </ul> </li> <li>○ 産学官連携によるSDGsビジネスの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産学官連携補助金による新ビジネス創出支援（産学連携型、民間連携型）</li> <li>・ 産学官連携研究会による新たなビジネスモデル開発支援</li> </ul> </li> <li>○ カーボンリサイクル技術の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カーボンリサイクル技術を推進するための協議会の設立・運営</li> <li>・ カーボンリサイクル技術を推進するための構想の作成等</li> <li>・ 研究事例の調査等</li> </ul> </li> </ul>	<p>座」を運営（H31. 4～）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ これらの結果として、医療機器等のデバイス開発を中心として、県内企業によるビジネス拡大の取組につながり、生産額は約4倍となるなど一定の成果（H23～R1）</li> </ul> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 従来からのものづくり企業による医療機器等の開発に加えて、医薬品、機能性表示食品、ヘルスケアサービスも含め、幅広く医療・健康関連産業を対象とした取組に拡大して事業を継続実施</li> </ul> <p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業間連携や海外展開を促進するため「ひろしま環境ビジネス推進協議会」を設置・運営（H24～R2：会員数182社）</li> <li>○ 広島県環境浄化産業クラスター形成事業補助金の交付（H24～R2：延べ128件）</li> <li>○ ベトナム、インドネシア、欧州での展示会出展及び企業招へい等によるビジネスマッチング（H26～R2：現地商談会6回、展示会2回、招へい商談会8回、WEB展示会8回）</li> <li>○ 中国四川省への企業団派遣による商談（H24～R2：7回）</li> <li>○ アジア地域での協定に加え、R1.11には、欧州の2つの環境関連団体と協定を締結</li> <li>○ 環境浄化分野の売上高 H23：1,000億円⇒R1：1,637億円</li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>⑥ <b>新成長分野・新技術創出支援事業【商工労働局】</b> <b>26 百万円</b></p> <p>先端技術が求められる成長分野への新事業展開やユーザー体験に根差した商品開発など、高付加価値のものづくりに活発に取り組んでいくことにより、将来にわたる競争優位性を獲得するための産業基盤の形成を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新成長分野支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザーを活用した航空機産業への新規参入支援及び品質管理の体制整備支援</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 海外展開着手企業数 H24：4社 ⇒R2：49社</li> </ul> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 商社等の民間事業者のノウハウやネットワークなどを活用し、県内企業の海外展開の拡大を図る。</li> <li>○ 広島県環境・エネルギー産業集積促進補助金について公募の上、4件程度採択し、産学官連携による新たな事業化等を促進する。</li> <li>○ ひろしま環境ビジネス推進協議会に産学官連携研究会を5テーマ程度設置し、SDGsに貢献する新たなビジネスの創出を支援する。</li> <li>○ カーボンリサイクル技術を推進するため、産学官による「広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進協議会」を設立</li> <li>○ カーボンリサイクルの普及啓発を目的とするフォーラムを開催する（6/15 予定）。</li> <li>○ カーボンリサイクル技術に関する構想について、関係者の意見等を参考に作成する。</li> </ul> <p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内航空機関連産業サプライチェーンの構築を目指し「ひろしま航空機産業振興協議会」を設置・運営（H26.5～）</li> <li>○ 一貫生産体制検討会の立ち上げ・運営（R1.12～）</li> <li>○ アドバイザー支援（R2：21件）</li> <li>○ 県内ものづくり企業の人間工学や感性工学を</li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空機部品の一貫生産体制構築へ向けた検討会の運営</li> <li>・メーカーとの商談機会の提供，人材育成講座の開催</li> <li>○ 新技術創出支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・感性工学等を取り入れたものづくりの普及啓発及び人材育成講座の開催</li> <li>・専門家及び支援機関とのマッチング</li> <li>・モニター調査及び解析支援</li> </ul> </li> </ul> <p><b>⑦ ひろしまサンドボックス推進事業【商工労働局】 166 百万円</b></p> <p>最新のデジタル技術を活用し，ニューノーマル時代における地域課題や行政課題等の解決に向けた実証実験を県内外の民間企業等との共創により行い，広島発の新たなソリューションの創出を目指すことを通じて，産業DX・イノベーション人材の育成・集積を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実証プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政が提案する課題の解決に向けた実証プロジェクトの実施</li> </ul> </li> <li>○ ひろしまサンドボックス推進協議会運営・支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・先端技術の学習・活用機会の提供や，県内企業・自治体とスタートアップ企業等とのマッチング支援，AI人材開発プラットフォームの運営等の会員向けサポートメニューの提供等</li> </ul> </li> <li>○ データカタログサイト運営・支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひろしまサンドボックスデータカタログサイトの運営やデータ提供者と利用者とのマッチング支援等</li> </ul> </li> </ul>	<p>取り入れたものづくりを推進するため「ひろしま感性イノベーション推進協議会」を設置・運営（H26. 4～）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 専門家・支援機関とのマッチング（R2：10件）</li> </ul> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き，新たな成長分野への事業展開等を支援する。</li> </ul> <p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ひろしまサンドボックス推進協議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数 1,884 者（H30～R3. 1. 31 現在）</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実証プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政提案型プロジェクトの推進（各局実施）</li> </ul> </li> <li>○ ひろしまサンドボックス推進協議会運営・支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・5G等の最先端技術を活用した新規事業創出に向けた支援</li> <li>・県内企業と首都圏スタートアップ企業等とのマッチング支援</li> <li>・デジタル人材開発プラットフォーム「ひろしまQuest」の実施</li> </ul> </li> <li>○ データカタログサイト運営・支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・データカタログサイトを通じたデータ提供者と利用者とのマッチング推進</li> </ul> </li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>⑧ <b>イノベーション・エコシステム形成事業（一部新規）【商工労働局】</b>  <b>164 百万円</b></p> <p>これまでの取組で生まれた成果に加え、世界に選ばれる「イノベーション創出拠点ひろしま」として国内外に認知されるイノベーション・エコシステムを形成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DX大国インドのデジタル人材と地域企業の共創を通じ、画期的なビジネス創造、スタートアップ創出、デジタル人材の育成・獲得を目指す。</li> <li>・国際的な創業者の団体「EOせとうち」と連携し、イノベーション関連施策の合同成果発表及びマッチング等の実施</li> <li>・「ソーシャル・イノベーション・スクール in 広島」を開催し、SDGsを実践する社会起業家を育成</li> <li>・技術力とビジョンを持つ広島県内の企業が、社会や生活の変化を長期的な目線で見据えた新しいビジネスを創出するプログラムを実施</li> <li>・イノベーション・トーク，スタートアップ向けイベント等によるイノベーションマインドの醸成や、「イノベーション・ハブ・ひろしま Camps」での交流イベント等の開催</li> <li>・経営層の積極的な参画を促し、IoT導入や企業戦略を促進する成長支援人材の育成・派遣</li> <li>・ベンチャー企業への社員派遣を通じて、事業化の実践機会等を提供することにより、イノベーションを促進する人材を育成</li> </ul>	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ イノベーション・ハブ・ひろしま Camps <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者 3,341人 (R2.4～R3.3)</li> <li>・事業化件数 20件 (R2.4～R3.3)</li> </ul> </li> <li>○ グローバル・イノベーション事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・インドプログラム説明会参加者数 700名超 (選考の後、共創ワークショップ3組開催)</li> </ul> </li> </ul> <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ イノベーション・ハブ・ひろしま Camps <ul style="list-style-type: none"> <li>・Camps選任のコーディネーターが主催するアクセラレーションプログラムを通じた事業化支援</li> <li>・コーディネーターによるきめ細かな経営アドバイス、人やアイデアの交流及び創造性を掻き立てるイベント等の開催</li> </ul> </li> <li>○ 「イノベーション・ハブ」形成促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「イノベーション・トーク」, 「グローバル・イノベーション事業」, 「ソーシャル・イノベーション・スクール in 広島」, 「ベンチャー留学プログラム」, の実施によるイノベーターの育成・確保</li> </ul> </li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>⑨ <b>イノベーション人材等育成・確保支援事業【商工労働局】</b> 173 百万円</p> <p>高度な技術・技能や経営感覚を持ったプロフェッショナル人材など、イノベーションを生み出す多彩な人材の育成と集積等を推進し、企業の新分野への展開や地域産業の活性化等を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ プロフェッショナル人材マッチング支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大都市圏等のプロフェッショナル人材と県内中小企業等のコーディネート</li> <li>・人材受入コストの支援</li> <li>・プロフェッショナル人材戦略拠点の機能強化</li> </ul> </li> <li>○ イノベーション人材等育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小・中堅企業が社員を国内外の研修に派遣する費用や個人の専門職大学院の課程等での修学に要する費用の支援</li> </ul> </li> <li>○ 広島県ものづくりグローバル人材育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官が連携して、アジアをはじめとする優秀な理工系留学生を受け入れ、ものづくり企業のノウハウを活かしたカリキュラムによる人材育成を実施</li> </ul> </li> </ul>	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ プロフェッショナル人材 [マッチング] R1：176 件，R2：283 件 [課題]副業・兼業等多様な就業形態によるプロ人材の活用促進</li> <li>○ イノベーション人材等育成 [採択] R1：37 件，R2：23 件（コロナウイルス感染症の影響により事業停止） [課題]R2 事業休止による新規の制度活用企業等の掘り起こし不足</li> <li>○ グローバル人材育成 [就職]R1：5 名，R2：7 名 [課題] 受入留学生への継続支援のためのさらなる協議会会員企業の獲得</li> </ul> <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き、プロフェッショナル人材をはじめ、イノベーション人材やグローバル人材の確保・育成に向け、積極的に企業へのアプローチを実施し、支援制度の活用を促進</li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
<p><b>3 生産性の高い持続可能な農林水産業の確立</b></p> <p>農業分野において、生産性向上や労働力不足の解消に向け、更なるスマート農業の導入促進を図るため、導入コストの低減やデータの蓄積・解析等を進める。</p> <p>また、水産業分野においては、かきの国内需要が減少する中、生産量を維持し続けるため、海外輸出を促進するとともに、地球温暖化の影響による生育不良などの課題に対応していく。</p>	<p><b>① 経営力向上支援事業【農林水産局】</b> <span style="float: right;"><b>57 百万円</b></span></p> <p>経営力の高い担い手が生産の大部分を占める力強い生産構造への転換を目指し、経営発展意欲が高い担い手に対し、生産性の向上を図るなど企業経営への転換に向けた支援に取り組む。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業経営化支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成、予算・実績管理など担い手の重点課題の解決に向け専門家等を派遣</li> <li>・企業等が実践しているマネジメント手法を学ぶ研修を実施</li> </ul> </li> <li>○ アグリ・フードマネジメント講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立広島大学と連携し、イノベーションを生み出すための経営戦略を考える講座を実施</li> </ul> </li> <li>○ ひろしま農業経営者学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営者意識の醸成、経営スキルの向上、経営ビジョンの策定など、経営の発展段階に応じた経営管理の知識を習得する講座を実施</li> </ul> </li> <li>○ 高度技術導入モデル実証 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハウスレモンの収量を増加させる環境制御技術の実証</li> </ul> </li> <li>○ 水田活用によるレモン栽培実証 <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿岸部の水田を活用したレモン栽培のための防寒対策効果の実証、気象観測結果に基づく栽培適地の詳細なマップを作成</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業経営化支援 専門家派遣：6経営体（R2）</li> <li>○ アグリ・フードマネジメント講座 講座受講者：15名（R2）</li> <li>○ 環境制御技術の実証：トマト、キュウリ及びレモン各2か所（R2） 環境制御技術のコンサルティング：7経営体（R2）</li> <li>○ 栽培適地マップ作成のための気象観測装置設置：22か所（R2）</li> </ul> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業経営化支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営発展意欲が高い6経営体に対し、経営コンサルタントなどの専門家を派遣</li> </ul> </li> <li>○ アグリ・フードマネジメント講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月から全15日間の講座の開講を計画</li> </ul> </li> <li>○ ひろしま農業経営者学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県東部および北部において、講座を開講</li> </ul> </li> <li>○ 高度技術導入モデル実証 <ul style="list-style-type: none"> <li>・トマト、キュウリ及びレモンについて、環境制御技術の実証による単収増効果の確認</li> </ul> </li> <li>○ 水田活用によるレモン栽培実証 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒーター等を活用した、低コストでの昇温効果の確認</li> </ul> </li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p><b>② ひろしま型スマート農業推進事業（新規）【農林水産局】 100 百万円</b></p> <p>広島県の中山間地域に対応した、ひろしま型スマート農業技術を確立するとともに、これらを活用した経営モデルを構築し、普及させることにより、生産性の高い農業の実現を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現地実証試験の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・普及可能性の高い技術テーマを選定し、実証試験を実施</li> <li>・農業経営体と連携し、技術導入に向けた課題を抽出</li> </ul> </li> <li>○ コンソーシアムによる技術の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業や専門家等とコンソーシアムを組織</li> <li>・実証試験で抽出された課題を解決し、中山間地域に対応したスマート農業技術に改良</li> <li>・改良した技術の普及に向け、経営モデルを検討</li> </ul> </li> </ul> <p><b>③ 水産業スマート化推進事業（かき養殖におけるデジタル技術の活用）（新規）【農林水産局】 20 百万円</b></p> <p>デジタル技術の活用によるかき養殖の生産安定化により、かきを安定的に供給する体制の構築を目指す。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ データ収集のためのシステム整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・水温センサーや餌料センサーの漁場への設置</li> <li>・汎用クラウドを利用したデータの蓄積</li> <li>・かき生産者の携帯端末からデータの入出力が可能となるアプリの開発</li> </ul> </li> <li>○ データ活用の実証 <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼生調査の効率化に向けた幼生検知技術の導入</li> <li>・水温データを活用したへい死防止対策の実施</li> <li>・収穫適期の予測による、身入りの良いかきの安定生産</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公募による実証テーマ数：3テーマ</li> </ul> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3テーマごとの委託事業者を6月上旬に決定</li> <li>○ 委託事業者と農業者等で構成するコンソーシアムを6月末までに組織し、現地実証を開始</li> <li>○ 3月末までに、3テーマごとに、実証試験で抽出された課題を踏まえた技術改良の方向性を整理</li> </ul> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ データ収集のためのシステム整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・水温センサー等を設置し、データ蓄積のシステムを構築する。</li> </ul> </li> <li>○ データ活用の実証 <ul style="list-style-type: none"> <li>・収集したデータを活用して、安定生産対策を図る。</li> </ul> </li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p><b>④ 水産業スマート化推進事業（水産資源の回復）（一部新規）【農林水産局】</b>  <b>32 百万円</b></p> <p>水産資源回復に向けた漁場環境の改善等に加え、デジタル技術を活用した効果検証を行い、瀬戸内の地魚を安定的に供給する体制の構築を目指す。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 海底耕うんの実施（新規） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 底びき漁船によるモデル地区での耕うん</li> </ul> </li> <li>○ 海底耕うん及び藻場造成地区における環境改善効果の検証（新規） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 底質や底生生物等の調査</li> <li>・ デジタル技術を活用した魚群等の調査</li> </ul> </li> <li>○ ガザミ、キジハタの集中放流</li> </ul>	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 集中放流の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地先定着型魚種の放流を実施</li> </ul> </li> </ul> <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 海底耕うんの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モデル地区（1地区）で海底耕うんを実施</li> </ul> </li> <li>○ 環境改善効果の検証 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海底耕うん実施地区及び藻場造成地区において、デジタル機器を用いたモニタリング調査を実施</li> </ul> </li> <li>○ 集中放流の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地先定着型魚種の放流を実施</li> </ul> </li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
<p><b>4 交流・連携基盤の整備</b></p> <p>アフターコロナ時代においても、地域産業の持続的発展やアジア諸国等との取引を支援する国際物流拠点の基盤整備、瀬戸内海と世界をつなぐ国際交流拠点の環境整備などの広域的な交流・物流機能の強化や、都市交通の定時性・速達性の確保に資する自動車専用道路などの交通基盤の整備が重要である。</p> <p>特に、新型コロナの影響により厳しい経営状況にある航空・空港関連事業者に対しては、定期路線の復便や利用者の回復に向けて、広島空港の運営権者等と連携しながら、航空ネットワークの維持に向けた取組等を実施する。</p>	<p><b>① 広島空港拠点性強化事業【土木建築局】 37 百万円</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で運休している定期路線を早期復便し、航空ネットワークの維持・拡充及び航空機利用の利便性向上を図ることにより、中四国地方の拠点空港として競争力・拠点性を高めるため、航空会社等に対して必要な取組を実施する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ エアポートセールス <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内線の利用促進及び国際線の維持・復便等に向けた航空会社等へのセールス活動</li> </ul> </li> <li>○ 国際定期路線緊急支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・航空会社等に対して、国際定期路線の維持及び早期復便のために必要な経費の一部を支援（令和3年4月～6月）</li> </ul> </li> <li>○ 空港アクセスバス事業者への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広島空港リムジンバスを運営しているアクセス事業者に対して、航空機の運航に合わせたバス路線・便数の復便に必要な運行経費の一部を支援（令和3年4月～6月）</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国内線については、利用促進のため、航空会社に対し、広告経費を支援</li> <li>○ 国際線については、航空会社に対し、次の経費の一部をR3.3月まで支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線維持のために必要となる経費（事務所賃貸料等の固定経費）</li> <li>・速やかな路線回復を図るために必要となる経費（一般共用施設使用料等、運航便数に応じて必要となる変動経費）</li> </ul> </li> <li>○ 国際線の路線維持に不可欠な機内食製造会社に対し、固定経費の一部をR3.3月まで支援</li> <li>○ 広島空港リムジンバスを運営しているアクセス事業者に対して、路線・便数を復便するために必要な経費をR3.3月まで支援</li> <li>○ 国に対し、全国知事会や中国地方知事会、県の施策提案を通じて、地方空港の当面の路線維持や路線の回復に必要な支援とともに、国際線の復便に不可欠となる検疫体制の充実・強化を図ることを要請</li> </ul> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ R3.7月から広島空港の運営を開始する広島国際空港㈱や航空会社、関係機関と連携し、新型コロナウイルス感染症の回復状況を踏まえながら、タイムリーかつ効果的な国内線の利用促進や国際線の早期復便に向けた取組を実施</li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p><b>② 国際物流拠点港湾における物流基盤の強化・充実 【土木建築局】</b>  <b>4,818 百万円</b></p> <p>本県の新たな経済成長への挑戦を支えるため、アジアの経済成長や国際化の進展に合わせたグローバルゲートウェイ機能の強化を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国際物流拠点港湾における物流基盤の強化・充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広島港（五日市地区等）</li> <li>・福山港（箕沖・箕島地区）、尾道糸崎港（機織地区等）</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島港五日市地区において、臨港道路廿日市草津線4車線化工事のⅡ期区間にH29より着工し、広島港宇品地区において、国際交流基盤の充実強化のため、岸壁改良工事に令和元年度から着手した。</li> <li>○ 福山港箕沖・箕島地区のふ頭再編改良事業については、福山市と協力し国への要望等を行った結果、H30に新規事業として採択された。</li> <li>○ 尾道糸崎港機織地区は、県東部の原木輸入拠点として、大型化した貨物船による効率的な輸送に対応するため、国の直轄事業により、航路・泊地の整備を行っている。</li> </ul> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業の着実な推進に向け、必要な予算を確保できるよう国に対して要望を行う。</li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
<p><b>5 地域共生社会の実現</b></p> <p>外国人が地域社会の一員として孤立することなく安心して生活できるよう、生活に必要な情報を共有できる仕組みづくりなど環境整備に取り組む。</p>	<p><b>① 多文化共生の地域づくり支援事業【地域政策局】 47 百万円</b></p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国人との共生推進事業（拡充） <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人が、言葉の壁等がある中でも、安心して生活できるよう、外国人が地域との繋がりを持ちながら、生活に必要な情報を共有できる仕組みづくりを市町と連携して実施する。</li> </ul> </li> <li>○ 異文化理解促進プログラム（拡充） <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な考え方・価値観があることを、特に若い世代から実感できるように、学校での異文化理解を促進する取組を行う。</li> </ul> </li> <li>○ 地域日本語教育の拡充（拡充） <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人が生活に必要な日本語能力を身に付け、社会の一員として地域と交流できるよう、日本語教室等の充実を図る。</li> </ul> </li> <li>○ 外国人専門相談窓口の運営（継続） <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人に対する専門相談窓口を運営する。</li> </ul> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>相談日（木・土）、対応言語（10 言語）</li> <li>専門分野（在留資格、社会保険、労働条件、法律、人権）</li> </ul> </div> </li> <li>○ 外国人への情報提供の充実（継続） <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活関連情報、地域行事、イベント情報等を多言語で SNS 等により発信するほか、医療・防災等に関する情報の多言語化と提供機会の充実に取り組む。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国人との共生推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人と地域との橋渡し役となるキーパーソンの発掘等 安芸高田市：地域交流（向原町戸島 3 区）を通じたキーパーソン（技能実習生）の発掘 福山市：外国人市民の情報収集の実態調査を通じたキーパーソン候補者（外国人協力者）の確保 ⇒R3：継続 2 市の取組を深化（※）させるとともに、新たに 4 市町でも実施予定</li> </ul> </li> <li>※2 年目の取組内容 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>安芸高田市：対象エリアを拡大、</li> <li>福山市：候補者の人材育成・活動実践</li> </ul> </div> </li> <li>○ 異文化理解促進プログラム <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立高校 2 校（加計、吉田）で実施（小中学校はコロナ禍で実施見送り） ⇒R3：〔小中学校〕 5 市、〔高校〕 5 校において実施予定</li> </ul> </li> <li>○ 地域日本語教育の拡充 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規教室開設等に向けた日本語学習支援者研修を実施 呉市、廿日市市、安芸高田市、海田町、北広島町 ⇒R3：継続市町も含め、10 市町程度で実施予定</li> </ul> </li> <li>○ 外国人専門相談窓口（ひろしま国際センター）の運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数 517 件（R1：303 件） うち、コロナ関連 203 件（給付金手続、体調不安、生活困窮、仕事探し等）</li> </ul> </li> <li>○ 外国人への情報提供の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広島在住外国人生活情報サイト「Live in Hiroshima」により、生活に役立つ情報を随時発信</li> <li>・医療通訳ボランティア派遣事業 派遣件数 236 件（R1：122 件）</li> <li>・災害時に多言語情報を発信する災害多言語支援センターを開設（試行運用、R3～本格運用）</li> </ul> </li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>(関連する取組)</p> <p>② 医療サービスを円滑に受けるための支援【健康福祉局】 非予算  《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国人患者受入可能な医療機関等の情報提供（継続）</li> </ul> <p>③ 防災対策上の支援【危機管理監】 非予算  《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多言語防災情報メール（11言語対応）の配信及び登録促進（継続）</li> <li>○ 自主防災組織が避難の呼びかけや避難所での避難活動に活用できる翻訳カードの普及（継続）</li> </ul> <p>④ 住宅確保のための環境整備【都市建築技術審議官】 非予算  《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多言語による賃貸借契約・入居手続等の説明ツールの周知（継続）</li> </ul> <p>⑤ 外国人児童生徒への教育支援【教育委員会】 非予算  《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ R2 東広島市においてモデル事業として実施した外国人児童生徒への日本語指導・支援を県内に普及（継続）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療サービスを円滑に受けるための支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12言語別の対応可能な医療機関を検索できる「救急医療NET HIROSHIMA」を運用</li> </ul> </li> <li>○ 防災対策上の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町、国際交流団体、大学等を通じて、登録促進のためのチラシを111,950部配布</li> <li>・ 「Live in Hiroshima」へのチラシの掲載や外国人向けイベント、交流会や説明会等における周知を実施</li> <li>・ 指差しカード（翻訳カード）を23市町に配布（合計3,600セット）</li> </ul> </li> <li>○ 住宅確保のための環境整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町窓口や不動産業者等に対し、仲介業者向け多言語説明ツール「外国人の民間賃貸住宅入居円滑化ガイドライン（14言語対応）」及び、外国人向け「部屋探しのガイドブック（14言語対応）」の普及と利用促進について広島県居住支援協議会を通じて要請</li> </ul> </li> <li>○ 外国人児童生徒への教育支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東広島市において、初期指導教室を開設</li> <li>・ 拠点校である東広島市立龍王小学校において、外国人児童生徒への日本語指導について実践研究</li> </ul> </li> </ul> <p>⇒R3:東広島市での実践を基に「初期指導教室開設マニュアル」、「日本語指導カリキュラム」、「学校生活スタートガイド」等のモデルを作成し、外国人児童生徒等教育・日本語指導連絡協議会及び日本語指導担当教員研修会で提供</p>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>⑥ 事件・事故対応，交通安全対策等の充実【警察本部】 1百万円</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 110番通報等への多言語対応（13言語対応）の継続及び周知徹底（非予算）（継続）</li> <li>○ 運転免許学科試験の多言語対応（ポルトガル語の追加等）（拡充）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事件・事故対応，交通安全対策等の充実</li> <li>・ 運転免許学科試験の多言語対応 英語に加え，中国語及びベトナム語の試験を実施</li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
<p><b>6 働き方改革・多様な主体の活躍促進</b></p> <p>県内企業等において、そのニーズに基づき特定技能等の外国人材の受入れ・就労が適切かつ円滑に行われ、これら外国人が孤立することなく、安心して生活できる環境を整備する。</p>	<p><b>&lt;外国人の就労環境&gt;</b></p> <p><b>① 外国人材の受入・共生対策事業【商工労働局】 3百万円</b></p> <p>引き続き新型コロナウイルス感染症の影響など企業等の現状・課題を把握するとともに、外国人材の受入れが適正かつ円滑に行われ、外国人が県内企業で活躍できるよう、情報提供を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現状等把握 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人材雇用企業等を対象としたヒアリング調査等により現状・課題を把握</li> </ul> </li> <li>○ 情報提供の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー等で最新の在留資格制度や手続の留意点等の情報を提供するとともに、個別の企業等が抱えている問題に対応するため、企業等向けの相談会を実施</li> </ul> </li> </ul> <p><b>② 外国人介護人材の受入支援【健康福祉局】 12百万円</b></p> <p>引き続き外国人介護人材の受入れが適正かつ円滑に行われるよう、情報提供を行うとともに、外国人介護人材が県内で定着・活躍できるよう支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉・介護事業者向けに、受入ノウハウ等を共有するセミナーを開催</li> </ul> </li> <li>○ 定着・活躍支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人介護人材や指導者を対象に、資質向上を図る研修を実施</li> <li>・介護留学生への日本語学習支援</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国人材雇用企業における新型コロナウイルス感染症の影響に関する調査（R2：3回実施）で把握した課題（入国後の待機に係る企業等の費用負担増等）に対する軽減措置等を国へ要請</li> <li>○ 外国人材受入れノウハウ動画作成，HP掲載等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・53.4%が動画の情報を「有益」と回答。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業等へヒアリング調査を実施するとともに、必要な対応策を適宜検討・実施</li> <li>○ 企業等を対象としたセミナー・相談会の開催</li> <li>○ 業界団体等からの要請等に応じた出前講座を実施</li> </ul> <p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国人介護人材受入支援セミナー（R2：3地域，216人）</li> <li>○ 外国人介護人材資質向上研修（R2：2回，92人）</li> </ul> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 受入施設や外国人材のニーズに応じたセミナーや研修会の開催</li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等												
<b>7 新型コロナウイルス感染症対策</b>	<p><b>① 新型コロナウイルス感染症対応資金 預託額【商工労働局】</b>  <b>31,238 百万円【新規融資枠 119,000 百万円】(R3 繰越事業)</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により経営の安定に支障を生じている中小企業者の資金繰りを支援するため、県費預託融資制度において、一定割合の売上減少等の要件に応じ、当初3年間を実質無利子とするほか、信用保証料を不要とする融資制度を実施</p> <p>&lt;取扱期間&gt;令和2年5月1日～令和3年5月31日  (保証申込期限：令和3年3月31日)</p> <p>《主な経緯》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年5月1日  「新型コロナウイルス感染症対応資金」の広島県での取扱いを開始</li> <li>・令和2年6月15日 同資金の融資限度額を拡充  (3,000 万円 ⇒ 4,000 万円)</li> <li>・令和2年12月18日 同資金の取扱期間を延長  (保証申込期限 令和2年12月末 ⇒ 令和3年3月末)</li> <li>・令和3年2月1日 同資金の融資限度額を拡充  (4,000 万円 ⇒ 6,000 万円)</li> </ul> <p><b>② 県内中小企業・個人事業主に対する制度活用支援事業【商工労働局】</b>  <b>576 百万円 (R3 繰越事業)</b></p> <p>国の雇用調整助成金等の申請手続きに必要な費用を支援するもので、県内全市町と連携しながら全県共通の支援として実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助額：上限 10 万円 (1 事業者あたり)</li> <li>・実施期間：R2. 6. 9～R3. 8. 31</li> </ul>	<p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <p>○ R3. 5. 4 (開始から239営業日経過) 時点</p> <table border="1" data-bbox="1487 293 2085 695"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>金額 (百万円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症対応資金</td> <td>38,412</td> <td>589,914</td> <td>信用保証料 1/2補助分を含む</td> </tr> <tr> <td>うち 実質無利子分</td> <td>37,887</td> <td>580,829</td> <td>当初3年間 実質無利子、 無担保、信用 保証料なし</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <p>○ コロナ禍が長期化する中、収益の低迷が続く事業者も多いことから、新型コロナウイルス感染症対応資金の申込再開や、既に貸し付けられている同資金の返済条件の変更等の柔軟な対応、利子補給期間や償還期間の延長など、事業者の返済負担の一層の軽減支援策の実施について、全国知事会等を通じて引き続き国に対して要望する。</p> <p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <p>○ 県の補助金 (R 3. 4. 30 時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請件数：3,208 件</li> <li>・決定件数：3,140 件</li> <li>・交 付 額：284,437 千円</li> </ul> <p>○ 国の雇用調整助成金等 (R 3. 4. 23 時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請件数：74,923 件</li> </ul>	区分	件数	金額 (百万円)	備考	新型コロナウイルス感染症対応資金	38,412	589,914	信用保証料 1/2補助分を含む	うち 実質無利子分	37,887	580,829	当初3年間 実質無利子、 無担保、信用 保証料なし
区分	件数	金額 (百万円)	備考											
新型コロナウイルス感染症対応資金	38,412	589,914	信用保証料 1/2補助分を含む											
うち 実質無利子分	37,887	580,829	当初3年間 実質無利子、 無担保、信用 保証料なし											

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p><b>③ 若年者就職による社会減対策事業【商工労働局】</b>  <b>29 百万円 (R3 当初), 20 百万円 (R3 繰越事業)</b>  新規学卒者等に対し, 県内事業者とのマッチング機会を提供  &lt;令和3年3月卒業・修了者・既卒者向け&gt;  ○ 21 卒・既卒者全力応援キャンペーン  就活サイト「ひろしまッチ!」のなかで「7月新卒入社歓迎企業」特集ページを作成し, 21 卒・既卒者を積極採用する企業を紹介(実施期間:R3. 3. 30~R3. 7. 31)  &lt;令和4年3月卒業・修了予定者等向け&gt;  ○ 就活サイト「ひろしまッチ!」  県内に本社又は事業所のある事業者の求人情報・企業情報を集めた新卒就活サイトを開設(実施期間:R3. 3. 1~R4. 3. 31)  ○ 企業紹介動画作成事業費補助金  「ひろしまッチ!」に掲載する企業紹介動画を作成する企業に対し, 作成経</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 決定件数: 74, 152 件</li> <li>・ 交 付 額: 73, 236, 436 千円</li> <li>※広島労働局管内(緊急雇用安定助成金を含む)</li> <li>○ 事業者アンケート(R3年1月実施) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県補助金の交付決定事業者の約9割が, 県補助金は雇用調整助成金等を申請するのに役に立ったと回答。</li> </ul> </li> <li><b>【今後の取組予定】</b></li> <li>○ 国の雇用調整助成金の特例措置の延長(R3. 4. 30時点では6月末まで)を踏まえ, 県補助金の申請についても, 8月末まで受け付ける。</li> <li><b>【これまでの取組状況・成果】</b></li> <li>○ R3. 3 卒業・修了者内定率(大学生)95. 3% (R3. 3. 31 時点)</li> <li>&lt;R3. 3 卒業・修了者・既卒者向け&gt;</li> <li>○ 21 卒・既卒者全力応援キャンペーン  掲載社数: 90 社  内定者数: 3 人 (R3. 4. 27 時点)</li> <li>&lt;R4. 3 月卒業・修了予定者等向け&gt;</li> <li>○ 就活サイト「ひろしまッチ!」  掲載社数: 259 社 (うち, 動画掲載社数: 102 社)  PV数: 89, 171 件  UU数: 43, 638 人</li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>費の一部を助成（実施期間：R3. 1. 12～R3. 5. 31，助成率：1/2，上限額：10万円）</p> <p><b>④ 新型コロナ対策離職者等就業支援事業（新規）【商工労働局】 224 百万円</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症等の影響による雇用情勢の一層の悪化に対し，就労経験のない業種・職種への転換を余儀なくされる離職者や再就職を希望する子育て世代の女性，新卒学生等の円滑な就職を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 求人ニーズの掘り起こしと発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間のノウハウを活用したプッシュ型求人開拓と情報発信</li> </ul> </li> <li>○ 求人情報の発信強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・離職者等への求人情報の発信強化</li> <li>・新卒学生向け合同企業説明会の実施</li> </ul> </li> </ul>	<p>エントリー数：2,185 回 （R3. 4. 30 時点）</p> <p>○ 企業紹介動画作成事業費補助金 サポーター登録者数：30 社 動画作成申込：48 件（うち動画完成 14 社） （R3. 5. 11 時点）</p> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <p>○ R3. 3 卒業・修了者（既卒者）向け支援については，引き続き広島労働局や大学キャリアセンター等と連携して，既卒者向け面接会への誘導のほか，相談対応等の個別支援を実施する。</p> <p>○ R4. 3 卒業・修了者等向け支援については，「ひろしまッチ！」の掲載企業数を増加させ，サイトを通じたマッチングを促進するとともに，新型コロナ対策離職者等就業支援事業により，新卒学生向け合同企業説明会を開催する。</p> <p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <p>○ 県内 3 か所（福山，東広島，広島）で離職者等向け合同企業面接会を平日に開催（参加企業149社，参加者224人，内定者11人（※R3. 4. 12 現在））</p> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <p>○ 県内 2 か所に設置予定の「働きたい人全力応援ステーション」において，コロナ離職者等の支援に向けて，プッシュ型の求人開拓や，離職者等の個々の状況に応じたきめ細かなマッチングを実施</p>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コーディネート機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・業種・職種転換が必要な離職者に対する伴走型キャリアコンサルティングや短期の就業体験機会の提供</li> <li>・子育て世代女性に対する「わーくわくママサポートコーナー」における相談体制の拡充や就職活動時の保育料助成などの支援の強化</li> </ul> </li> <li>○ 離職者等向けの合同企業面接会の開催</li> </ul> <p><b>⑤ ものづくり価値創出支援事業【商工労働局】（再掲）</b>  <b>348 百万円 (R3 当初), 1,000 百万円 (R3 繰越事業)</b></p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ものづくり価値創出支援補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厳しい経営環境においても将来にわたる研究開発投資を促進することで、本県のものづくり企業の持続的発展を図るため、先行開発の成果等を基に、課題と技術構想が明確になっている応用開発・実用化開発を支援</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会社訪問しなくてもweb上で社風等がわかる企業情報や、民間の求人まとめサイトとデータ連携した求人情報を掲載した求人マッチングサイトの再構築（8月）</li> <li>○ 新卒学生向け合同企業説明会の開催（8・9月）</li> <li>○ 県内3か所で離職者等向け合同企業面接会を土曜日に開催</li> </ul> <p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ものづくり価値創出支援補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>【R2 第1次公募分（6月補正）】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交付決定件数：11 件（申請件数：40 件）</li> <li>・ 交付決定額：358 百万円</li> <li>・ 確定額：319 百万円</li> </ul> </li> <li><b>【R2 第2次公募分（9月補正）】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交付決定件数：32 件（申請件数：32 件）</li> <li>・ 交付決定額：827 百万円</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○ 未来ニーズ探索型F/S研究開発補助金（R2のみ） <ul style="list-style-type: none"> <li>※新しい生活様式で必要となる新技術・新製品の開発等、応用・実用化開発につながる事業化可能性の検証を支援</li> <li><b>【R2 第1次公募分（6月補正）】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交付決定件数：6 件（申請件数：6 件）</li> <li>・ 交付決定額：6 百万円</li> <li>・ 確定額：5 百万円</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等																																		
	<p><b>⑥ 緊急対策販路開拓等支援補助事業【商工労働局】</b>  <b>412百万円（R3 繰越事業）</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けた小規模事業者の事業継続を支援するため、国の小規模事業者持続化補助金（持続化補助金）を活用して販路開拓やビジネスモデルの転換等に取り組む小規模事業者に対し、経費の一部を補助</p> <p><b>【補助対象者】</b> 国の持続化補助金の採択を受けた事業者  <b>【補助率等】</b> (単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="510 869 1451 1281"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">対象事業</th> <th colspan="2">国</th> <th colspan="2">県</th> <th rowspan="2">事業者負担率</th> </tr> <tr> <th>補助率</th> <th>上限額</th> <th>補助率</th> <th>上限額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般型</td> <td>販路開拓, 生産性向上の取組</td> <td>2/3</td> <td>500</td> <td>1/12</td> <td>62.5</td> <td>1/4</td> </tr> <tr> <td>コロナ型A</td> <td>サプライチェーンの毀損への対応</td> <td>2/3</td> <td>1,000</td> <td>1/12</td> <td>125</td> <td>1/4</td> </tr> <tr> <td>コロナ型B</td> <td>非対面型ビジネスモデルへの転換</td> <td rowspan="2">3/4</td> <td rowspan="2">1,000</td> <td rowspan="2">1/12</td> <td rowspan="2">111</td> <td rowspan="2">1/6</td> </tr> <tr> <td>コロナ型C</td> <td>テレワーク環境の整備</td> </tr> </tbody> </table>	区分	対象事業	国		県		事業者負担率	補助率	上限額	補助率	上限額	一般型	販路開拓, 生産性向上の取組	2/3	500	1/12	62.5	1/4	コロナ型A	サプライチェーンの毀損への対応	2/3	1,000	1/12	125	1/4	コロナ型B	非対面型ビジネスモデルへの転換	3/4	1,000	1/12	111	1/6	コロナ型C	テレワーク環境の整備	<p><b>【今後の取組予定】</b></p> <p>○ ものづくり価値創出支援補助金について、R3 予算において R3. 3. 4～4. 20 の期間で公募を実施し、10 件の申請を受理。審査会による審査を経て、R3. 6 月上旬に交付決定予定。</p> <p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <p>○ 小規模事業者の制度活用を促進するため、県のホームページやメールマガジンによる広報をはじめ、市町、商工団体、金融機関等を通じて制度周知・活用促進を図るとともに、県内の飲食店 27,000 者に制度概要チラシを郵送し、制度周知を図った。</p> <p>○ R3. 4 月末までの国の採択件数は 2,623 件となっており、多くの事業者が補助制度を活用して販路開拓等に取り組んでいる。</p> <p>○ 採択件数 2,623 件のうち、R2 年度は、国の持続化補助金が確定した 57 件について、県の補助金を交付した。</p>
区分	対象事業			国		県			事業者負担率																											
		補助率	上限額	補助率	上限額																															
一般型	販路開拓, 生産性向上の取組	2/3	500	1/12	62.5	1/4																														
コロナ型A	サプライチェーンの毀損への対応	2/3	1,000	1/12	125	1/4																														
コロナ型B	非対面型ビジネスモデルへの転換	3/4	1,000	1/12	111	1/6																														
コロナ型C	テレワーク環境の整備																																			

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等																												
	<p>⑦ ひろしまサンドボックス推進事業【商工労働局】</p> <p style="text-align: right;"><b>530 百万円 (R3 繰越事業)</b></p> <p>3密対策等が必須となった社会環境変化を踏まえ、オンライン化などの新しい生活様式に適応したソリューションの提案を全国から募集し、県内外のプレーヤーの共創により、プロトタイプの開発から県内フィールドでの実証を支援</p>	<p><b>【今後の取組予定】</b></p> <p>○ 国の持続化補助金が確定した事業者に対して順次、商工団体を通じて県補助金を交付する。</p> <p><b>【国の持続化補助金採択件数 (R3. 4. 30 現在)</b></p> <p style="text-align: right;">(単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="1485 427 2085 965"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>第 1 回 公 募</th> <th>第 2 回 公 募</th> <th>第 3 回 公 募</th> <th>第 4 回 公 募</th> <th>第 5 回 公 募</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>持続化補助金 (一般型)</td> <td>179</td> <td>329</td> <td>184</td> <td>209</td> <td>—</td> <td>901</td> </tr> <tr> <td>持続化補助金 (コロナ型)</td> <td>124</td> <td>449</td> <td>356</td> <td>385</td> <td>408</td> <td>1,722</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>303</td> <td>778</td> <td>540</td> <td>594</td> <td>408</td> <td>2,623</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <p>○ 新しい生活様式に適応する新たな製品やサービスの創出を目指す「ひろしまサンドボックス」の新たな実証プロジェクトを R3. 11. 26 から募集を開始</p> <p>○ 応募期限の R3. 1. 20 まで、全国から 391 件の応募</p> <p>○ 新規性や将来性、実現性などの観点から、一次選考通過 100 件を選定し、R3. 2. 9 に一般公開</p>	区分	第 1 回 公 募	第 2 回 公 募	第 3 回 公 募	第 4 回 公 募	第 5 回 公 募	合計	持続化補助金 (一般型)	179	329	184	209	—	901	持続化補助金 (コロナ型)	124	449	356	385	408	1,722	合計	303	778	540	594	408	2,623
区分	第 1 回 公 募	第 2 回 公 募	第 3 回 公 募	第 4 回 公 募	第 5 回 公 募	合計																								
持続化補助金 (一般型)	179	329	184	209	—	901																								
持続化補助金 (コロナ型)	124	449	356	385	408	1,722																								
合計	303	778	540	594	408	2,623																								

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>⑧ <b>創業・新事業展開等支援事業【商工労働局】 348 百万円 (R3 繰越事業)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなビジネスモデルの構築を ICT ツールの活用により進める事業者を支援することにより、サービス産業等に係る「新しい生活様式」に対応したビジネスモデルの展開を促進</li> <li>・「新しい生活様式」やコロナ禍での県内企業の事業継続に向けて、企業の新事業展開や業態の抜本的転換を後押しするため、県・経営コンサル等によるプッシュ型支援を実施</li> </ul>	<p>○ R3. 2 月上旬から R3. 4 月中旬にかけて 2 次審査（うちパブリック評価は R3. 3. 10 ～ 3. 31）を行い 30 件を選定（最終審査発表は R3. 4. 21）</p> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実証プロジェクト「D-EGGS PROJECT」の推進（4 月下旬から実証を開始し、10 月中旬には成果発表を予定）</li> </ul> <p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <p>○ 新たなビジネスモデル構築支援</p> <p>&lt;導入支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な先進事例やツールを紹介するセミナーの実施</li> <li>・専門家派遣による具体的な導入検討等の支援の実施</li> <li>・国の IT 導入補助金の上乗せ補助の実施（交付決定件数：135 件、交付決定額 27 百万円（R2 年度末時点））</li> </ul> <p>&lt;実装支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなデジタルサービスを実装するプロジェクトの公募及び選定の実施（採択プロジェクト数：21 件）</li> <li>・県が採択した新たなデジタルサービスを実装するプロジェクトの県内モニター事業者の公募及び選定の実施（交付決定件数：30 事業者、交付決定額 24 百万円（R2 年度末時点））</li> </ul>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等															
	<p>⑨ 企業立地促進対策事業＜新型コロナウイルス感染症対策特別枠＞  <b>【商工労働局】 2,000百万円 (R3 繰越事業)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、これまでの働き方が見直され、地方移転への関心が高まる中、デジタル系企業を主なターゲットとする企業立地促進助成制度を期間限定で実施</li> <li>・製造業を中心として、新規投資を躊躇する企業の投資決定を後押しするため、AI, IoT, ロボット化等に取り組む企業の設備投資を支援する制度を期間限定で実施</li> </ul>	<p>○ プッシュ型による新事業展開支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内企業のうち、一定の経営資源を有する企業群を定量的に抽出し、成長意欲の高い支援候補企業を111社選定。</li> <li>・県及び民間コンサルタントの選定企業への訪問調査等により、支援企業50社を決定。</li> </ul> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <p>○ 新たなビジネスモデル構築支援  実装を速やかに開始させるとともに、サービス内容が中小企業にとって使い易くなるよう、モニター事業者やサービス提供事業者との調整が円滑になるよう支援し、「新しい生活様式」に対応したデジタルサービスの展開を促進する (R3 年度9月終了予定)。</p> <p>○ プッシュ型による新事業展開支援  引き続き、支援企業に対するプロセスコンサルティングを実施する (R3.9 終了予定)。</p> <p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <p>○ 企業誘致等件数</p> <table border="1" data-bbox="1485 1091 2069 1362"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>交付決定件数</th> <th>交付決定額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>短期プロジェクト参加型 (短期の県内オフィス利用)</td> <td>22件</td> <td>32,615千円</td> </tr> <tr> <td>移転・分散型 (県内へのオフィス移転)</td> <td>42件</td> <td>972,783千円</td> </tr> <tr> <td>ファクトリーDX加速 化助成</td> <td>20件</td> <td>994,602千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>84件</td> <td>2,000,000千円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	交付決定件数	交付決定額	短期プロジェクト参加型 (短期の県内オフィス利用)	22件	32,615千円	移転・分散型 (県内へのオフィス移転)	42件	972,783千円	ファクトリーDX加速 化助成	20件	994,602千円	合計	84件	2,000,000千円
区分	交付決定件数	交付決定額															
短期プロジェクト参加型 (短期の県内オフィス利用)	22件	32,615千円															
移転・分散型 (県内へのオフィス移転)	42件	972,783千円															
ファクトリーDX加速 化助成	20件	994,602千円															
合計	84件	2,000,000千円															

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p><b>⑩ 港湾施設使用料等の支払猶予措置【土木建築局】 (非予算)</b></p> <p>港湾利用者の事業継続と港湾機能の維持を安定的に図る観点から、令和2年度に実施した港湾施設使用料等の支払猶予措置を、令和3年度も継続する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 港湾施設使用料等の支払猶予措置実施</li> </ul>	<p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交付対象企業の事業実施状況をフォローし、R3中に着実に助成金を交付する。</li> </ul> <p><b>【これまでの取組状況・成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ R2 は港湾施設使用料等の支払猶予措置（50件）、減免措置（210件）を実施した。</li> </ul> <p><b>【今後の取組予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後、新型コロナウイルス感染症の影響がさらに拡大する場合は、その状況に応じた港湾施設使用料の減免措置を行うなど必要な支援策を検討する。</li> </ul>